

台湾半導体産業の変遷と最新動向 ～半導体産業集積に向けて今知りたい!～

経済安全保障の観点からも半導体産業の回帰が渴望される日本。かつては世界トップレベルだった日本の半導体産業も、今では台湾、韓国、アメリカなどと大きな差がついている。台湾は中でも世界半導体産業を牽引し、コロナ禍でも著しい経済成長を遂げているが、これまでどのような戦略で、どのような変貌を遂げてきたのか。その変遷を追うことで、日本や、特にゲームチェンジャーとなり得るラピダスのパイロット運転が目前と迫る北海道ではどのような示唆を得ることができるのか。今だからこそ知っておきたい、半導体産業の先進地域の最新動向を、台湾に精通する2人の専門家が解説する。

第1部 「台湾半導体産業の過去・現在・未来」

ジェトロ・アジア経済研究所
上席主任調査研究員 佐藤幸人



第2部 「台湾の半導体産業の強みと日本への示唆」

台湾野村総研諮詢顧問股份有限公司
董事兼副總經理 田崎嘉邦 氏



2025年3月14日(金) 13:30-16:30
札幌グランドホテル2階 グランドホール東



お申込期限
2025年3月12日(水)17時



お問合せ
ジェトロ北海道(担当 降旗) / 011-261-7434

詳細・お申込み
(CLICK又はQRコードから!)



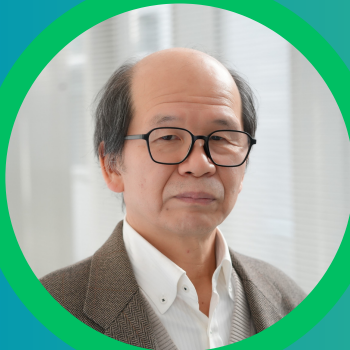
●講師プロフィール

佐藤幸人

ジェトロ・アジア経済研究所 上席主任調査研究員

東京大学経済学部卒業、国立台湾大学経済学研究所修士課程修了、神戸大学経済研究科より博士号。1986年アジア経済研究所入所。1989～92年、2001～03年、台北に駐在。新領域研究センター長、研究推進部長を経て現職。専門は台湾及び東アジアの産業発展と経済社会の分析。

著書：『台湾ハイテク産業の生成と発展』（岩波書店 2022）、『蔡英文再選——2020年台湾総統選挙と第2期蔡政権の課題——』（アジア経済研究所 2020）、『東アジアの人文・社会科学における研究評価』（アジア経済研究所 2020）。



田崎嘉邦

台湾野村総研諮詢顧問股份有限公司 董事兼副總經理

現職は台湾野村総合研究所の董事兼副總經理。台湾には2000～2003年、2008～2016年、2020年～現在と合計3回、約16年に亘る駐在歴がある。専門は企業のグローバル（主に中華圏）事業戦略、クロスボーダー事業提携、M&A、都市・不動産開発、インフラ開発計画、産業政策の策定等。日本企業向けのコンサルティング業務だけでなく、台湾政府や企業向けのコンサルティング案件も数多く手掛ける。



●ジェトロの取組ご紹介

ジェトロは経済産業省所管の独立行政法人として、国内外に有する120以上の事務所を通じ、日本企業の輸出・貿易の支援、日本への投資促進、農林水産物の海外市場開拓、調査研究業務を行い、日本の国際競争力強化及び経済の成長を後押ししております。近年、半導体関連では、日本の半導体エコシステムの形成と強化に向けて、下記の取組を実施しています。

- **海外動向の調査**：世界各地の主要半導体エコシステムや関連するサプライチェーンを調査・分析し、各種媒体を通じて日本の企業・政策関係者等の皆様に情報提供しています。（※今回のセミナーのほか、世界の半導体産業動向と主要4地域の調査・分析の報告セミナーも近日北海道で開催予定です）
- **外国企業誘致**：海外の半導体関連企業の日本への投資を後押しし、国内企業との協業を支援しています。
- **海外有力機関との関係構築**：米国の半導体研究・支援機関NY CREATESと包括連携の覚書を締結するなど、世界の有力関係機関とのネットワークを構築し、日本の関連機関の皆様にご紹介することで、国内での研究開発や人材育成を支援しています。
- **地域エコシステムの支援**：北海道や熊本など、日本各地の半導体エコシステムの形成・強化を支援するため、海外企業・機関の招へいやセミナー・ワークショップ等の開催、個別マッチング等の活動を行っています。